

平成27年度第1回(政治学・国際関係学)グループ合同委員会議事概要
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会(政治学・国際関係学グループ)

I. 日時:平成27年12月14日(月)18:00~20:00

II. 場所:私立大学情報教育協会事務局

III. 出席者:CCC政治学グループ運営委員会 川島委員、名取委員

CCC国際関係学グループ運営委員会 林委員、佐渡友委員、毛利委員(スカイプ)
事務局 井端事務局長、森下

III. 議事概要

1. 政治学・国際関係学分野連携のアクティブ・ラーニング対話集会の検討

(1) 対話集会の目的、計画、進め方などについて

今年度は「対話を通じて課題を発見し、課題解決に向けた学びを主体的・協働的・創造的に展開していくアクティブ・ラーニングの手法とそれを実現していくための授業運営の工夫」、「組織的に推進していくため教学マネジメントの工夫」について対話集会を通じて考察を行う

(2) 検討内容

- ① 初年時の「アクティブラーニング」について意見交換する。
- ② 200名クラスのアクティブラーニングの事例を話題提供しファシリテータの課題や教学マネジメントの課題を意見交換する。その際にティーチングアシスタントをどう育成、制度化していくかの課題について意見交換する。
- ③ 教学マネジメントの事例として、明星大学で教職が連携して教育センターで「勤労学生」を制度化し、初年時教育に活用している事例を話題提供していただく。
- ④ 学位中心のプログラム転換する教学マネジメントも課題、授業科目間の調整・整理・統合、セメスター制などについても意見交換する。
- ⑤ アクティブラーニングという授業科目をつくるのも一つの方法であることから、アクティブラーニングのスペシャリストと専門の教員が連携する授業、いろいろな先生のオムニバス授業、アクティブラーニングと講義科目の連携なども意見交換する。
- ⑥ 分野の異なる学生、留学生、社会との双方向型授業など異分野との意見交換・知識組み合わせによる発想型授業を通じて多面的にとらえることの重要性についても意見交換する。留学生の意見を聞くだけでも多様な歴史・背景・考え方を知る大きな効果がある。

(3) 検討結果

1) 開催趣旨の説明

2) 社会と連携した発想型のアクティブ・ラーニングの話題提供

① 科目連携、分野横断型チームティーチングの提案

関西大学 総合情報学部 教授

名取 良太 氏

② ファシリテータを制度化し活用する取組み

(初年次教育をファシリテートする効果と課題)

明星大学 明星教育センター課長

御厨 まり子 氏

③ 社会の多様性・異文化を体験し知識の創造を目指すサービス・ラーニングの実践

国際基督教大学 サービスラーニング・センター長・教授

西尾 隆 氏

3) 意見交換

知識の定着・確認、知識の活用・創造に効果的なアクティブ・ラーニングの在り方及び組織的に推進していくための教学マネジメントの工夫について、下記のテーマで意見交換する。

【アクティブ・ラーニングに関する項目】

1. 初年次教育でのアクティブ・ラーニング
(主権者教育、市民教育など)
2. 知識・技能・態度の確認・定着を目指したアクティブ・ラーニング
(大人数教室でのアクティブラーニングの手法)
3. 知識の創造を目指したアクティブ・ラーニング
(異分野との意見交換・知識組み合わせによる発想型授業)

【教学マネジメントに関する項目】

1. 学位プログラム中心の科目編成
(教員中心から学位プログラム中心の科目編成への教学マネジメント)
2. ファシリテータ活用の方法・体制と養成

(4) 次回の日程

今回は対話集会とし、開催場所、開催日時等はメール上で意見交換してけっっている。

その後の決定事項

- ① 対話集会開催日 平成 28 年 3 月 5 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 30
- ② 開催場所 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)